

エアウィン®調製・投与方法リーフ

調製・投与方法は動画でもご覧いただけます。



本剤は、バイアルの規格によって溶解に必要な**注射用水**の量が異なります。

- 45mgバイアルの場合：注射用水1.0mLで溶解してください。
 - 60mgバイアルの場合：注射用水1.3mLで溶解してください。
- いずれのバイアルも最終濃度は50mg/mLとなります。



エアウィン®の用法及び用量

通常、成人にはソタテルセプト（遺伝子組換え）として初回に0.3mg/kgを投与し、2回目以降は0.7mg/kgに増量し、3週間ごとに皮下投与する。





体重別の初回用量・維持用量における投与量は、以下の体重別投与量早見表をご覧ください。

体重別投与量早見表

0.3mg/kg (初回用量)

体重 (kg)	投与量 (mL)	標準分量バイアル
30.0～40.8	0.2	45mg 
40.9～57.4	0.3	
57.5～74.1	0.4	
74.2～90.8	0.5	
90.9～107.4	0.6	
107.5～124.1	0.7	
124.2～140.8	0.8	60mg 
140.9～157.4	0.9	
157.5～174.1	1.0	
174.2～180.0	1.1	

0.7mg/kg (維持用量)

体重 (kg)	投与量 (mL)	標準分量バイアル
30.0～31.7	0.4	45mg 
31.8～38.9	0.5	
39.0～46.0	0.6	
46.1～53.2	0.7	
53.3～60.3	0.8	
60.4～67.4	0.9	60mg 
67.5～74.6	1.0	
74.7～81.7	1.1	
81.8～88.9	1.2	2 x 45mg 
89.0～96.0	1.3	
96.1～103.2	1.4	
103.3～110.3	1.5	
110.4～117.4	1.6	
117.5～124.6	1.7	2 x 60mg 
124.7～131.7	1.8	
131.8～138.9	1.9	
139.0～146.0	2.0	
146.1～153.2	2.1	
153.3～160.3	2.2	
160.4～167.4	2.3	
167.5以上	2.4	



実寸大

アクチビンシグナル伝達阻害剤  薬価基準収載

エアウィン®

皮下注用45mg
皮下注用60mg

ソタテルセプト（遺伝子組換え）製剤

AIRWIN®

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 本剤の投与開始前の血小板数が50,000/mm³未満の患者 [9.1.2参照]

本剤の「効能又は効果、注意事項等情報」等については電子添文を参照ください ▶

(01)14987185810958



2025年10月作成
WIN25PH0176



本剤は、バイアルの規格によって溶解に必要な**注射用水**の量が異なります。

- 45mgバイアルの場合：注射用水1.0mLで溶解してください。
 - 60mgバイアルの場合：注射用水1.3mLで溶解してください。
- いずれのバイアルも最終濃度は50mg/mLとなります。

ご用意いただくもの

バイアルの必要数・投与量については裏面の**体重別投与量早見表**をご覧ください。

☐ シリンジ ☐ 注射針 ☐ エアウイン®のバイアル ☐ 注射用水 ☐ アルコール綿

シリンジと注射針は必要に応じて調製用と投与用をご準備ください。

調製前の注意事項

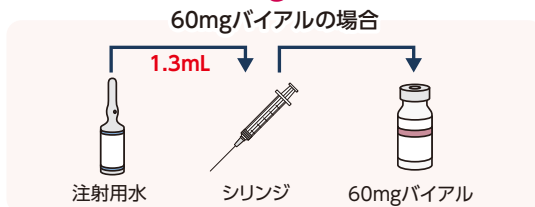
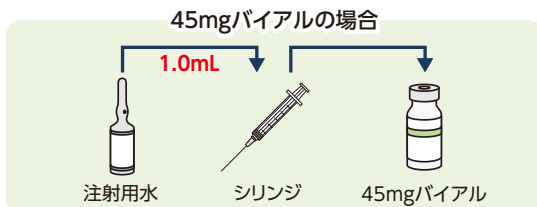
- ・投与の約15分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してから調製してください。
- ・調製前に右の事項を確認し、異常が認められる場合は使用しないでください。

- ☐ 有効期限内である
- ☐ 白色の塊または粉末である

調製方法

01 バイアルのキャップを外し、ゴム栓表面をアルコール綿で清拭します。

02 注射用水で本剤を溶解します。**いずれのバイアルも最終濃度は50mg/mLとなります***。



※ 本剤は、調製時の損失を考慮し、1バイアルからソタテルセプトをそれぞれ45mg又は60mgを注射するに足る量を確保するために過量充填されています。

03 緩やかに渦を描くようにバイアルを回して本剤を溶解します。
強く振ったり攪拌したりしないでください。

04 大きな気泡が消失するまでバイアルを最大3分間放置します。
バイアルの縁の周りに発生した小さな気泡は問題ありません。

05 溶解後の液について、下記を目視で確認してください。

- ☐ 大きな気泡がない
- ☐ 澄明または乳白光、無色またはわずかに褐色がかかった黄色である
- ☐ 塊や粉末がない

06 2本のバイアルが処方されている場合は、**01～05**の手順を繰り返し、2本目のバイアルも調製してください。

07 溶解後は速やかに使用してください。
すぐに使用できない場合は室温で保管し、**4時間以上経過したものは廃棄**してください。

投与方法

01 0.1mL目盛りのシリンジを用いて、1本または2本のバイアルから適切な投与量の薬剤を吸引します。

02 投与部位を選択します。
瘢痕、圧痛または挫傷のある部位を避けます。
投与ごとに注射部位を変更してください。

03 アルコール綿で投与部位を清拭後、皮下注射を実施します。

投与後の注意点

- 患者さんに、投与部位を圧迫したりもんだりしないようにご指導ください。
- 投与部位の痛みや体に異常を感じた場合は、すぐに主治医や看護師、薬剤師に相談するよう、ご指導ください。

投与部位

